

国際線が就航する中部国際空港（以下、「セントレア」）は、健全に機能するため多くの機関に支えられています。それらの業務の内容や実態を分かりやすく紹介することで、セントレアについての理解を深めていただきたいと、セントレア空港島に所在する各機関を訪問してインタビューした内容を中心に紹介しています。

第11回は、愛知県中部空港警察署長の佐々木好三氏にお話を伺いました。

（※文中の図表写真はすべて愛知県中部空港警察署提供）

公益財団法人中部圏社会経済研究所企画調査部部长 田辺 義夫

第11回 愛知県中部空港警察署

名 称：愛知県中部空港警察署

所在地：〒479-0881 愛知県常滑市セントレア三丁目8番地の3

沿 革

1963年3月 愛知県西枇杷島警察署豊山北駐在所に臨時名古屋空港派出所が併設

1964年4月 駐在所から独立し、名古屋空港警備派出所として発足

1990年12月 警察署設置準備室が設置

1991年7月 愛知県名古屋空港警察署が発足

2005年2月 愛知県中部空港警察署が開署

中部国際空港の開港に伴い、ターミナル交番が開所、愛知県名古屋空港警察署が閉署

2019年9月 第2ターミナルビル供用開始に伴い、同2階に警察官詰所が開所

Q 警察の責務と警察署等の設置根拠についてお聞かせください。

警察署は警察法によって運営しております。

警察法第二条は、第一項で「警察は、個人の生命、身体及び財産の保護に任じ、犯罪の予防、鎮圧及び捜査、被疑者の逮捕、交通の取締その他公共の安全と秩序の維持に当ることをもってその責務とする」とし、第二項では「警察の活動は、厳格に前項の責務の範囲に限られるべきものであって、その責務の遂行に当っては、不偏不党且つ公平中正を旨とし、いやしくも日本国憲法の保障する個人の権利及び自由の干渉にわたる等その権限を濫用することがあってはならない」とその責務を定めています。

また、第四章 都道府県警察の第一節 総則

（設置及び責務）第三十六条には、都道府県に、都道府県警察を置くこと、第五十三条で、都道府県の区域を分ち、各地域を管轄する警察署を置き、警察署に、署長を置くことを定めております。警察署長は、警視總監、警察本部長、方面本部長または市警察部長の指揮監督を受け、その管轄区域内における警察の事務を処理し、所属の警察職員を指揮監督することとし、警察署の名称、位置および管轄区域は、政令で定める基準に従い、条例で定めることとなっております。また、警察署の下部機構として、交番その他の派出所または駐在所を置くことができると定められております。

警察署の名称等は、愛知県警察の組織等に関する条例で決められています。

Q 愛知県警察の中での中部空港警察署の位置づけについてお聞かせください。

都道府県にそれぞれ警察本部が置かれており、愛知県警察の組織は、図表1に示しています。

現在、愛知県には45の警察署があります。

当署は、2005年2月、中部国際空港の開港にあ

わせて、空港および周辺地域で発生する各種事件事故等への迅速的確な対応や空港を舞台とした不法入国、密輸事犯等への対応を図るため警察活動の中核となる警察署として新設されました。

なお、全国には当署を含め空港警察署は、成田国際空港警察署（千葉県警察 成田国際空港）、東京空港警察署（警視庁 東京国際空港）、中部空港警察署（愛知県警察 中部国際空港）、関西空港警察署（大阪府警察 関西国際空港）、福岡空港警察署（福岡県警察 福岡空港）の合計5か所にあります。

愛知県警察本部では毎年、警察運営の基本目標を設定しています。2019年の基本目標は「『安心』して暮らせる『安全』な愛知の確立」と定めています。最重要課題として本年は「暴力団の壊滅」、「交通死亡事故の抑止～減少傾向の定着～」、「犯罪の抑止」、「大規模警備の完遂」という4つを掲げています。これにあわせて当署の基本目標を「安心安全なセントレアの確立」と設定しています。



図表1 愛知県警察の組織

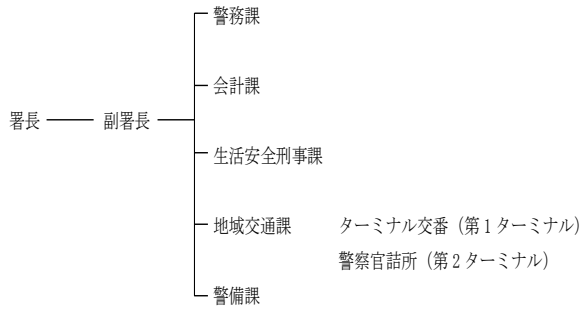
Q 中部空港警察署の組織についてお聞かせください。

当署の署員は署長以下約110名です。

当署は署長、副署長のはかに警務課、会計課、生活安全刑事課、地域交通課、警備課の5課体制



図表2 2019年愛知県警察の基本目標



図表3 中部空港警察署組織図

で業務を遂行しています。この5つの課が基本目標の達成に向けてそれぞれ所掌業務にあたっています。

Q 中部空港警察署の5課の業務概要についてお聞かせください。

警務課は、当署の受付事務や広報活動、警察安全相談、職員の福利厚生や健康管理などを担当しております。会計課は、落とし物や拾い物の取り扱いや建物の維持管理などです。生活安全刑事課ですが、愛知県内の他の警察署では生活安全課と刑事課がそれぞれ独立していますが、当署はセントレア島内という特殊な地域情勢から統合した課となっています。業務としては地域安全活動や保護活動、銃砲刀剣類所持・警備業等の許可などの仕事のほか、窃盗や知能犯罪、暴力団犯罪などの捜査を、さらに国際拠点空港という特殊性から密輸の摘発にも万全の体制を確立しており、覚醒剤、銃器取締りなどを担当しています。

地域交通課も、ほかの署では地域課と交通課に分かれていますが、管轄内の情勢にあわせて当署は1つになっています。パトロール、犯罪の予防・検挙が主な業務ですが、110番通報があればその対応もします。さらに交通安全教育、交通取締り、交通規制の許可といった仕事があります。

警備課は、警衛警護、災害警備の活動です。当署には「警備隊」という愛知県内の警察署には組織されていない部門があります。国際拠点空港という特殊な環境で利用者の「安心」と「安全」を守るべく空港の中で警戒警備を専門に活動しています。

Q 中部空港警察署の特徴的な業務についてお聞かせください。

国際拠点空港のセントレアは、2018年度の利用者数が開港以来過去最高の約1,236万人に達しました。国際線の外国人旅客数も約295万人と過去最高となりました。大変多くの方が利用されますので水際対策が県内のほかの警察署と比べると非常に多いことが挙げられます。覚醒剤等の密輸や国際海空港手配となっている被疑者等が入（帰）国を試みることもありますので、それらの対応には神経を研ぎ澄ませており、いざという時には厳戒態勢で臨み、不法行為の検挙や被疑者の確保等の確な対応ができるように有事即応体制が求められています。

なお、航空機護送とって、航空機で犯人を護送する業務についても、その手続きや島内の輸送等もほかの警察署ではない特徴的な業務になると思います。

また、拾得物が非常に多いことが挙げられます。会計課が担当していますが、年間3万件ぐらい拾得物を取り扱っています。決して愛知県内の警察署で1番の多さではありませんが、取り扱う件数が年々増加する傾向を示しています。セントレアを利用される方々には是非、手荷物の自己管理の徹底をお願いしたいと思います。

Q 覚醒剤の密輸、拾得物に関して詳しくお聞かせください。

覚醒剤等薬物の密輸事犯に関しては、2019年1月～8月までに8件11名を摘発しています。摘発に至る経緯については、水際対策である税関の入国検査などで発見されます。その後、税関からの通報を受けて警察官が現場出向して、被疑者を逮捕、送致、その後関係機関と協力して背後関係等について捜査します。

なお、2019年5月28日に密輸防止キャンペーンを開催しましたのでご紹介します。6月に開催されたG20大阪サミットのテロ対策の一環として、税関をはじめ関係機関や空港関係会社等と合同で密輸防止のキャンペーンを行いました。キャンペー



図表4 密輸防止キャンペーン



図表5 愛知県中部空港警察署ターミナル交番

ンにはコノハけいぶとコノハマ（愛知県警）、カスタムくん（名古屋税関）、うみまるくん（海上保安庁）も参加し空港利用者に、チラシやグッズを配布し、テロ関連物資や不正薬物等の密輸防止を呼び掛けました。

拾得物は傘、帽子、衣類などで、鉄道の駅や市民が憩う公共施設など通常の市民生活での忘れ物とほとんど変わりません。もちろん、現金もあります。そのほかには、かばんや訪問先で購入したお土産などもあります。拾得物の流れとしては、拾い主から空港会社などに届けられます。管理権を持っているところが受け取り、それが1週間に1度のペースで当署に運ばれてきます。持ち主が判明するものについては当署から連絡をしますので還付できます。しかし、持ち主の分からない物は保管期間の3か月を経過すると愛知県の所有となりますので当署で売却処分等も行っています。

ご参考までに申し上げますと、第1ターミナル

にターミナル交番、第2ターミナル内に警察官詰所があります。現金、貴重品などの落とし物をされた場合や、事件・事故などに遭われた方は交番等をご利用ください。緊急時はすぐに110番してください。

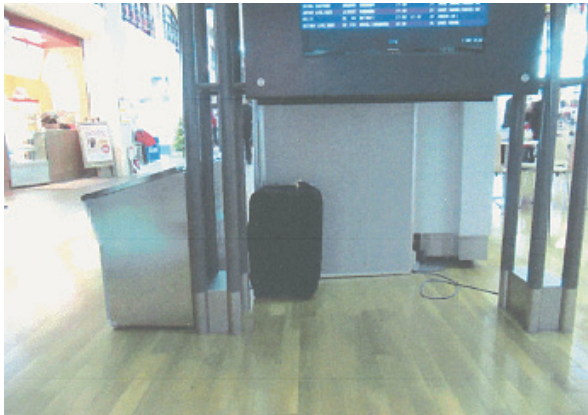
Q 関西国際空港や成田国際空港では以前、訪日外国人旅行者がスーツケースを空港に放置（廃棄）していくとの報道がありましたが、セントレアの状況をお聞かせください。

関西国際空港、成田国際空港をはじめとする国際線で、特に中国路線が就航している地方の空港でも同様な現象が顕著に現れ、セントレアでもキャリーバックが数多く放置（廃棄）されています。スーツケースやキャリーバック、水が入った段ボール箱等が所定のゴミ箱の横、トイレ内、手荷物カートの上などに放置されています。月間に20件から30件程度通報を受け処理にあたっています。

航空会社や中部国際空港株式会社でもさまざまな対策を講じていただいております、その効果が放置件数の減少傾向という形で表れていくものと期待しています。具体的には、有償引き取り制度があり、その数は増えていると聞いています。各機関が問題意識を持って諸対策を講じていただいておりますので、成果も上がってきていますが、皆無状態に達するのは困難と感じており、今は、特効薬がないので地道な活動を継続することが大事だと思います。

Q 中部空港警察署の業務遂行での難しさやご苦心に関してお聞かせください。

放置されたスーツケースやキャリーバックのことをもう少し説明したいと思います。これらの何が問題なのかといいますと、放置されている物が一体何かについて外見だけでは判断できません。スーツケースや段ボール箱に爆発物を入れて、時限式にしておいて、爆発したという過去の例がありますので、スーツケースがゴミとして置いてあるのか、そうではないのかの見分けがすぐにはできないところが最大の懸案事項です。放置物を安全



図表6 放置されているスーツケース



図表7 放置されたスーツケースの中身

かつ確実に処理するためには、警察官が現場臨場して、物の形状、放置場所・状況、時間帯や放置されていた期間等聴取した結果を第1次的な判断基準とし、金属反応を確認するなどして、不審物であるか否かを現場で判断することになります。

ほとんどの物件はゴミまたは一時的（食事等のため）に放置されたものでありますが、万が一を念頭に対応しなければなりません。本件の問題点は、①不審物としての対応による空港警備力の低下②空港会社、警備会社等への業務負担の増加、③旅客ターミナルの美観維持の弊害などがあげられます。

第2ターミナルが供用開始され、放置物件等が増えることも懸念されます。我々に与えられた一つの大きな課題として関係事業所等と連携して解決の道を探っていきたいと考えています。

Q 国際空港での犯罪の特徴をお聞かせください。

海外の犯罪情勢や日本との法体系の違いなどあり、空港内で発生する事案への対応には現場警察官が苦慮する場合があります。最近でも、保安検査場を通過して出国審査も受け搭乗までの間に、制限エリア内の免税店やショッピングセンターでの万引きが発生しています。犯人は犯行後、何食わぬ顔で盗んだ物を隠匿して、そのまま飛行機に乗って海外にいてしまうパターンが多いので、被害があっても、捜査が非常に難しいのが現状です。犯行後に見つからなければいいとか日本には当分来ないからという安易な考えで、そのまま飛行機に搭乗して逃走することは決して許されることではないので、関係者が一致協力して、防犯対策に取り組み、1件でも被害を防ぐことが重要です。法を犯した者を捜査し逮捕することは警察に与えられた責務であります。捜査員は「逃げ得は許さない」という精神で犯人を浮き彫りにしていきます。

当署の刑法犯認知件数は過去5年では年間約30件から40件の発生です。犯罪の発生件数はほかの警察署と比べれば、大変少ないですが、発生件数の問題ではありません。我が国のゲートウェイの一翼を担うセントレアが、安心して安全に利用できる環境を形成し確保するには犯罪を1件でも減らしたい、減らさなければならぬと考えています。

Q 旅行者が空港で被害を受けると、セントレアの印象が悪くなりますが対策などお聞かせください。

2019年愛知県警察の基本目標であります『安心』して暮らせる『安全』な愛知の確立』ということで、交通事故抑止対策や防犯対策を当署も鋭意推進しています。管内には居住している方はいませんが、なぜ、各種対策が必要かと問われれば、その1つの理由は、空港島内で働いている方は近接の地域から通っている方が多く、その方々に対する広報活動であること。2つ目の理由は、セントレアを利用して旅行に行かれる方や海外から来られた方が交通事故にあたり犯罪被害にあうと、

楽しみにしていた旅行に行けなくなったり、途中で旅行を中止して帰国しなければならなくなる可能性があるので、常日頃から交通事故や犯罪被害にあわない対策をしてくださいという働きかけが大事と考えているからです。

しかし、当署で行う各種対策の対象になる方が管内居住者ではないという点において、その浸透具合が非常に難しいところがあります。

そこで昨年から通称「くうけいネット」、正式にはセントレア・セーフティー・メール・ネットワークを構築しています。

治安水準の向上に向け、当署と官公庁、民間の事業所をネットワークで結び、双方向での情報の伝達、共有化を目指して、当署から相手側へ、相手側から当署へさまざまなことを発（受）信して、それを皆さんに伝えてまたは改善等していくシステムです。例えば、今、住宅対象侵入盗が多発していますとか、こんな手口の特殊詐欺が今、愛知県内で発生していますので気を付けてくださいと当署から発信します。空港島内の犯罪でなくても、セントレアで働いている人がそのメールの内容を聞いて、自宅に戻ってから、ご家族に「こういう犯罪が発生しているので、気を付けてね」と言ってもらえたならば活用価値があがると思っています。現在350以上の事業所と情報伝達の連絡網を構築しています。これらを活用して正確で速やかな情報発信と情報の共有化に取り組んでいます。

Q 中部空港警察署の勤務状況や署員の方の鍛錬などについてお聞かせください。

近年、全国的に交番、警察官への襲撃、攻撃に係る事案が発生していますが、署員には絶対に空港内で同種事案を発生させるわけにはいかないという意識を強く持たせています。

毎朝の朝礼時には逮捕術訓練を実践しています。逮捕術とは、警察官が攻撃を受けたときに、相手に与える打撃を最小限にとどめて、安全かつ効果的に制圧、逮捕する目的で取り入れています。例えば、さばき、打ち、けり、加えて警棒を使用しでの訓練を毎朝やっています。

さらに、反射神経を養う訓練や体力向上の訓練もやっています。愛知県警察では剣道、柔道、逮捕術、拳銃という種目別の大会を開催しています。県下の各警察署の規模に応じてA、B、Cにクラス分けされて競います。中部空港警察署はCクラスに位置付けられています。

署長室に飾ってあるカップ、トロフィーや優勝旗は、今年と昨年の大会で獲得した成果です。当署の精鋭が日ごろの鍛錬の成果をいかんなく発揮したもので、昨年の大会の主な成績をご紹介しますと、剣道大会で優勝、拳銃大会は3位、柔道大会は敢闘賞（4位）でした。今年は大規模警備が開催されるため、大会開催が例年より遅くなっており、4つの種目のうち逮捕術大会が8月に開催



図表8 盾、トロフィー



図表9 優勝旗

されました。この大会は昨年、1回戦負けでしたが、今年は準優勝を勝ち取りました。まだ、3つの大会が残っていますので、優勝目指して頑張っていきたいと思います。

学生時代から剣道や柔道をやっていた署員は、それぞれプライベートの時間で続けている者もいます。

署員は当署に配属になると、国際拠点空港の安心と安全を守る重要な職務であることを認識しますので、普段から体力向上に自主的に取り組み日々鍛錬しています。また、非番の日には、空港島内の歩道を利用してランニングに汗を流してから帰宅するなど、それぞれが目的意識を常に心に置いていますので、署長としては頼もしく感じています。

Q 2016年には伊勢志摩サミットが、今年は11月にG20愛知・名古屋外務大臣会合の開催が計画されていますが、要人警護や特徴的な対応などお聞かせ下さい。

2016年5月に開催された伊勢志摩サミットでは、国際テロの脅威、反グローバリズムを掲げる過激な勢力や極左暴力集団、右翼による事件等の国内の脅威、さらにサイバー攻撃の脅威という「3つの脅威」を踏まえた警備諸対策を推進しました。伊勢志摩サミットの会場となった三重県には全国から1万5,000人が派遣されて、最大時2万3,000人体制での警戒警備にあたりました。主要国首脳がセントレアを利用したということで島内も最高レベルの警戒警備が実施されました。同サミットの警備の万全を図るために、1つは実践的な訓練を実施し、警戒警備やテロ事案等に対する対処能力を高めました。また、県民の安心を醸成するために訓練状況を積極的に公開しました。G20愛知・名古屋外務大臣会合に向けても実践的な訓練を行っているほか、9月には、愛知県国際展示場において暴徒鎮圧訓練、警護訓練等の総合警備訓練を行いました。

また、大規模警備の完遂には県民の皆さん、各種団体、関係機関部署等の理解と協力を得ること



図表10 総合警備訓練状況①



図表11 総合警備訓練状況②

が重要かつ必要不可欠となりますので、そのための情報発信が大事になると思います。今回のG20愛知・名古屋外務大臣会合においては、特に交通規制に関して最大20か国以上の要人の警戒をすとなれば、相応の交通規制が必要となり、空港利用者にも影響が予想されますので、その影響が極力少なくなるように可能な限り早めの広報活動に努めていく方針です。

このほかにも、重要インフラ事業者等はサイバー攻撃の標的となる恐れがありますので、こうした諸対策については、警察本部のG20サミット対策課など関係する部署と緊密に連携しながら万全な対応ができるよう準備にあたっています。

Q 先日は天皇皇后両陛下がセントレアから飛行機で東京へお戻りになりましたが、その時の状況などお聞かせください。

6月に開催された第70回全国植樹祭は、御代替わり後、初のいわゆる三大行幸啓であり、天皇皇后両陛下の初めての地方ご訪問として愛知県を訪

問されました。非常に多くの歓送迎者が参集し、その歓迎方法も熱烈なものとなることが予想されました。当署としましては、歓送迎者の人出がどれくらいか、交通規制等どんな対処が必要か、警察官がどれくらい必要かなど事前に警備計画を立案し万全の警備体制等を確立した次第です。天皇皇后両陛下がご訪問されました先々や沿道には予想を上回る歓送迎者が参集していましたので、当署管内でも多くの歓送迎者が参集するものと予想していましたが、それをはるかに上回る歓送迎者が参集しました。県下全体の歓送迎者は7万人を超えました。

昨今、情報伝達にSNS等を利用しているので非常に速くまた正確で広範囲に伝わり、警察官が配置につくときにはすでに歓送迎者が参集している場所もあり、奉迎まで長時間の待ち時間がありました。どの場所でも警察官から奉迎に関し守って欲しいことなどをお願いをしましたが、快く受け入れていただき、雑踏事故や飛び出し、交通規制でのトラブルなどなく無事に警衛警備を終えることができました。これも、皆さんの協力があったおかげと感謝します。

警察官としてはさまざまな業務がありますが、個人的には、天皇皇后両陛下の警衛警備には県外派遣も含め何度もその任務にあたっていますが、言葉では言い表せない特別な緊張感があります。

Q 要人警護とともに、先ほどお話がありました水際対策、不審者の侵入に関して、工夫や苦労話をお聞かせください。

水際対策という言葉はよく耳にしていたので、知っているつもりでいましたが、当署に着任して水際対策の重要性を再認識することとなりました。

各官庁が水際対策を強化しており、警察も関連する事犯等に依じて対処することとなっています。各官庁との連絡会議などで、業務説明を聞いたり、現場を見学させていただき初めて知ることたくさんありました。特に、現在、アフリカ豚コレラがアジア全般で猛威を振るっているとの状況につ

いては、恥ずかしながら当署で仕事をするまで知りませんでした。また、各官庁が主催で行う訓練等も視察するようにしており、名古屋検疫所主催の検疫感染症総合措置訓練等の訓練を実際に見て、警察としての役割を確認するようにしています。また、合同で行う訓練にも積極的に参加するようにしており、本年5月に実施した不審物発見措置訓練等も本部機動隊の応援を得て実践的な訓練に臨んでいます。水際対策については、ここ空港で阻止しなければ、通常の社会生活や正常な環境保護等が侵されていく事実を知るに、警察として何ができるか等をよく考えるように署員にも教養しており、今まで以上に官庁間での情報交換や情報発信を推進していきたいと思っています。我々も必要なアドバイスを警察本部に求め、指導を受けています。水際対策は各官庁の連携が不可欠だと思います。

侵入対策については、中部国際空港株式会社や国土交通省大阪航空局中部空港事務所とも連携をとりながら、毎年想定を変えて訓練を実施しています。2018年11月にも幾つかのパターンをつくりながら、侵入者を警備員と一緒に確保する訓練をやっています。実際に起こるだろうという訓練を取り入れて、反省・検討し、問題点を明らかにし侵入対策の万全に努めています。

テレビのニュースや新聞で報道されましたので、すでに皆様方もご承知のことと思いますが過日、他空港において、本来、進入禁止の空港敷地にレ



図表12 不審物発見措置訓練の状況

ンタカーが迷い込んだ事案がありました。嚴重なセキュリティ策を講じているにも関わらず空港の制限区域に進入できたことに衝撃を覚えた次第です。セントレアでは開港以来このような事象は発生していませんが、これからも絶対に不法侵入を許さないことが求められます。

侵入事案に限らず、他空港で起きたことは当空港でも発生する恐れがあると常に考えるようにしています。発生した事案に関し疑問に思ったことや当空港ではどのような処置がとられているかをその都度確認することが当空港での発生防止につながるのではないかと思います。

「警察官の制服姿は頼りになります。近くにいてくれるだけで安心します。」等の言葉をいただきます。大変ありがたく思う一方、それにこたえる活動が必要になります。パトカーでの巡回や警察官のパトロール、また、警備員との連携を図るなど侵入防止に努めていきたいと考えています。

Q 第2ターミナルビルの供用開始、国際展示場の運営が始まりますが、対応などお聞かせください。

第2ターミナルについては、第1ターミナルと同じ警備態勢で警戒力を落とさないようにします。しかし、現況の要員体制では署員への負担増が懸念されますので、現勢力での効率のよい警備体制を模索しているところです。警戒力を落とすわけにはいかないので、不退転の決意で対応せざるを得ません。

愛知県国際展示場はイベントの種類、内容によって人出、車両台数が全く違ってきますので、当署としましては、個々のイベントをよく吟味して警備体制等を考えていき、必要によっては機動隊等の部隊派遣の要請も考えています。

2019年8月30日のKPOPコンサートを皮切りに、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える「eスポーツ」が開催されました。その翌週には多目的利用地で飲酒の可能な屋外コンサートがありました。2日間開催され、昼の12時から21時までの9時間にわたり連続公演されました。

一方、ほぼ同時刻にアイドルグループの握手会も開催されるなど、島内を訪れる1日の来場者数や車両はこれまでより増加しました。人、車両が増えれば事件、事故の発生が懸念されるほか雑踏事故にも注意が必要となります。

来場者のアクセス方法としては、車両、電車、(定期・貸切)バス、高速船などが考えられます。また、イベント毎に来場者の年代、男女の割合、客層等が異なってきます。これまで一時的なイベントの対応はありましたが、今後は恒常的な警備体制をとる必要があります。

そこで、まずは当署においてイベント毎に警備体制をとる必要があるか否か等を検討します。警備体制が必要と認められるイベントや内容を確認したいイベント等につきましては、主催者側と連絡をとり自主警備体制等について確認をします。そこでは、空港保安は絶対に守らなければいけないので、それを優先的に考え、特に空港や鉄道利用者等への影響、連絡橋の渋滞の可能性等を聞き取ります。大きなイベントについては、主催者との検討時に空港関係者や鉄道関係者にも加わっていただき、問題点等の洗い出しを行い、必要な場合には、数回にわたり検討を行うようにして、緻密で最適な警備方針を構築させます。

全国で初めて空港島内、国際拠点空港に隣接して国際展示場ができたということは、利便性を生かしたイベントが開催されることとなり、愛知県を初め、各自治体等もイベント招致に力を入れることになると思います。警察の観点としては、多様なイベントを標的としたテロの脅威を念頭に置かなければなりませんし、いつ、どこで、何が起こるかわからないという危機感を持つことが重要と考えます。いずれにしてもこれまでの旅客ターミナル、貨物地区の警戒に加えて昨年オープンしたフライト・オブ・ドリームズをはじめ警戒範囲が増大しましたが、警察の使命を全うするためにも鋭意職務を遂行する決意です。

Q 最後になりますが、読者に警察署長のお立場でお伝えいただく事項があればお聞かせください。

先ずは、テロ対策についてです。各種の刊行物、新聞紙上でも取り上げられていますのでご存知のことと思いますが、日本はテロの対象として名指しされていますし、いつ標的として攻撃されるのかも定かではないですが危険性は排除されません。諸外国と比較しますと我が国は安全な生活環境が整っていることから皆さんには、テロの脅威や可能性に関して深刻に受けとめられない状況だと思えます。

私は常日頃よりテロ対策は「人と物とタイミング」と説明しています。

人とはテロリストまたはその支援者のことです。対策は、まず、テロリストを我が国に入れず水際対策です。そのほかには、警察では管理者対策と呼んでいますが、不審動向を把握した場合に通報を依頼するなどの協力体制の構築が必要です。特に宿泊施設となるホテル・旅館・民泊やレンタカー業者などには本人確認を徹底していただくなどを依頼しています。テロリスト等が悪用しにくい環境を形成することが重要で、厳正な身分確認の実施による心理効果により人への対策が図れると思えます。

物とは武器となる銃器、爆発物等のことです。その対策は、武器をテロリスト等に渡さないということです。我が国は銃社会ではないので、銃器が容易に渡ることは他国と比べれば可能性は低いと思えますが、決して安心できるものではありません。次に爆発物ですが、爆発物の原材料を販売する事業者への対策が大事になります。使用目的などを明確にせず爆発物の原材料となり得るものを大量に購入しようとする者などあれば通報していただくようにしています。また、盗難等の防止のため、物の保管管理の徹底を依頼しています。

次に、タイミングについてです。タイミングは国際会議や大規模行事、世界的なスポーツイベントなどのことです。四六時中高い警戒レベルにあるわけではありませんが、平時の警戒と大規模なイベントがあるときとでは警戒力は異なります。ラグビーワールドカップ2019が開催となればテロ発生危険性は高まります。G20愛知・名古屋外



図表13 ターンテーブルを活用した広報

務大臣会合が近づけば警戒レベルを上げていかなければなりません。テロは常に脅威の状態にありますが、テロを起こすタイミングがあると思えます。そのタイミングに必要な警戒力を集中させることが重要だと思えます。

テロの発生は防止しなければなりません。特に、空港に対するテロは国内外に与える影響が計り知れないところです。そこで、テロを未然に防止するためには、警察による取組みでは十分とは言えませんので、民間事業者や地域住民の皆さんと緊密に連携して官民一体となったテロ対策を推進することが不可欠ですので、どうぞご協力をお願いします。

次に忘れ物対策です。セントレアではトイレの中での忘れ物が非常に多いのが実態です。そこで、当署では職員のアイデアを生かして手作りのポスターを制作しました。ご覧いただくとお分かりのように、文字が逆さに記述してあります。一度、鏡に映してポスターをご覧ください。鏡に映すと普通に読めると思えます。

このポスターの狙いは、お手洗いを済ませた方が洗面台で手を洗う際に、洗面台のところにある鏡を見ますと、この文字が逆さになったポスターが目に入るようにすることにより、お手洗いで使った個室に忘れてきたものがあつたときの「気づき」

になればと考えました。現在、旅客ターミナル内の一部と、名古屋鉄道の中部国際空港駅構内のトイレに貼ってあります。ポスターの効果は定かではありませんが、注意喚起になっていることは間違いないと自負しています。今後は関係者と調整して、このポスターの掲示個所を増やしていきたいと考えています。

そして交通事故についてです。今年の8月に空港島内に新しく道路が整備されました。国際展示場ができたので、島内に3か所目の信号機が設置されました。島内には案内看板が出ていますので、看板に従って走行していただければ目的地に無事着きますが、急いでいる時などには看板の見落としなどで迷ってしまうこともあるかと思います。カーナビゲーションの利用者が多くおられますが、データ更新にしばらくかかるかと思います。そういう観点からも交通事故の発生が懸念されるところです。

セントレアでは空港島内において、ほかの空港と比べると人身事故の件数が極端に少ないです。要因として考えられるのは、人と車が接しない構造で施設整備されていることです。非常に特徴的です。今年に入って4件（2019年8月末）発生していますが、2017年4月から2019年4月まで人身事故の件数はゼロでした。これからも安全運転に努めてほしいと思います。

最後になりますが、私は最近、航空機の飛行状況がリアルタイムで確認することができるアプリの存在を知りました。日本上空だけでなく全世界



図表14 中部空港警察署作成のポスター

を網羅しています。私は初めて見たときに、こんなにたくさんの飛行機が飛んでいるのかと正直驚きました。飛行機1機発着するには、機長がいなければなりません、そのほかにも、飛行機内で働く人、整備に携わる人、旅客の荷物を運ぶ人、保安検査にあたる人、出入国の審査、検査をする人など本当に多くの方が携わり発着しているはずで、その中の一つでも欠けたら発着はできませんし、すべてが適切でなければ安全な飛行はできないと思います。そう考えると、こうした環境で運営される航空事業の規模、マーケットの大きさを痛感するに至りました。空港内または空港周辺の治安が悪いとか、不法事案が発生し飛行機が飛ばせない、空港が閉鎖されるなどの事態は絶対に発生してはならないと思います。そういう意味で警察の果たす役割は大きく、重責であることを肝に銘じてしっかり任務を全うする決意です。



愛知県中部空港警察署長

佐々木 好三（ささき よしみつ）氏

- 1964年6月生 55歳
- 愛知県立田口高等学校卒業
- 1983年4月 愛知県警察拝命
- 2001年3月 愛知県豊橋警察署直轄隊
- 2003年4月 警察庁警備局外事課
- 2006年4月 愛知県警察本部警備部外事課
- 2011年3月 愛知県南警察署警備課長
- 2012年10月 愛知県警察本部警備部外事課国際テロ対策室長
- 2014年3月 愛知県警察本部警備部外事課次長
- 2014年10月 愛知県熱田警察署副署長
- 2016年11月 愛知県警察本部警備部警備総務課次長
- 2017年11月 愛知県警察機動隊長
- 2018年10月 愛知県中部空港警察署長